

内閣総理大臣 安倍晋三 殿
外務大臣 岸田文雄 殿

核兵器禁止条約交渉会議（第二会期）への不参加表明に対し、強く抗議するとともに、同会議に参加し、被爆国政府として、核兵器廃絶のために真摯に協議に応ずることを求める

岸田外務大臣は 26 日、核兵器禁止条約交渉会議（第二会期）に参加しないことを明らかにしました。

われわれは、日本政府の不参加方針に強く抗議するとともに、会議に参加し核兵器廃絶のために真摯に努力することを求めます。

日本政府は、かねてから「核保有国と非核保有国との橋渡し」をしてくれましたが、そうであるならば、この会議に参加し、非核保有国などの意見に耳を傾け、どのような方法で核兵器廃絶をすすめるか論議に参加するべきです。

第一会期では、日本政府が参加しなかったことに対し、カナダ在住の被爆者・セツコ・サーローさんは「日本政府を強く非難」と発言し、日本被団協の藤森俊希事務局次長は日本政府がこの会議の開催を決定した国連決議に反対したことを「心が裂ける思い」と厳しい調子で批判しました。

また、被爆者や日本国民そして多くの国の政府、NGO が日本政府の態度に失望と怒りを表明しました。

実際、日本政府は、「橋渡し」役と言いながら、実際にはどの場面でも核保有国の代弁者として行動してきました。

われわれは、国内外の批判にこたえ、日本政府がこうした態度をあらためて核兵器廃絶を進めようとしている国際社会の努力と被爆者や国民の核兵器廃絶を求める世論に謙虚に向き合い、会議に参加し、核兵器廃絶のために尽力するよう重ねて求めます。

2017 年 5 月 27 日

原水爆禁止広島県協議会
(広島県原水協)

〒732-0052 広島市東区光町 2 丁目 9-24-202
電話 082-568-5530 FAX082-568-5536